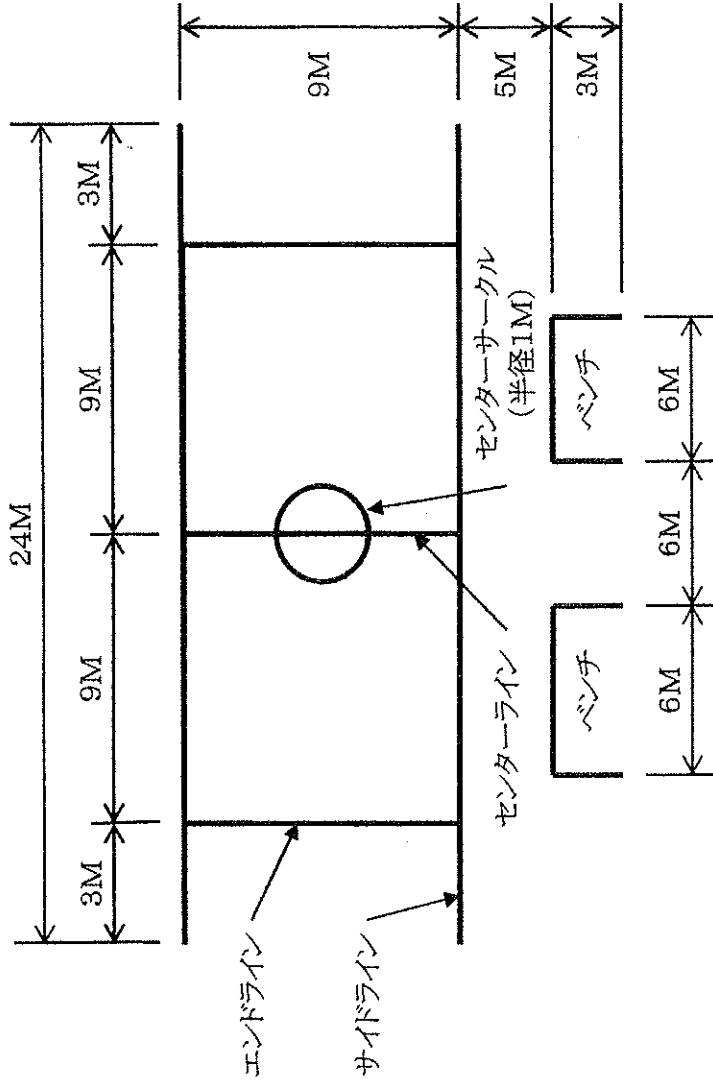


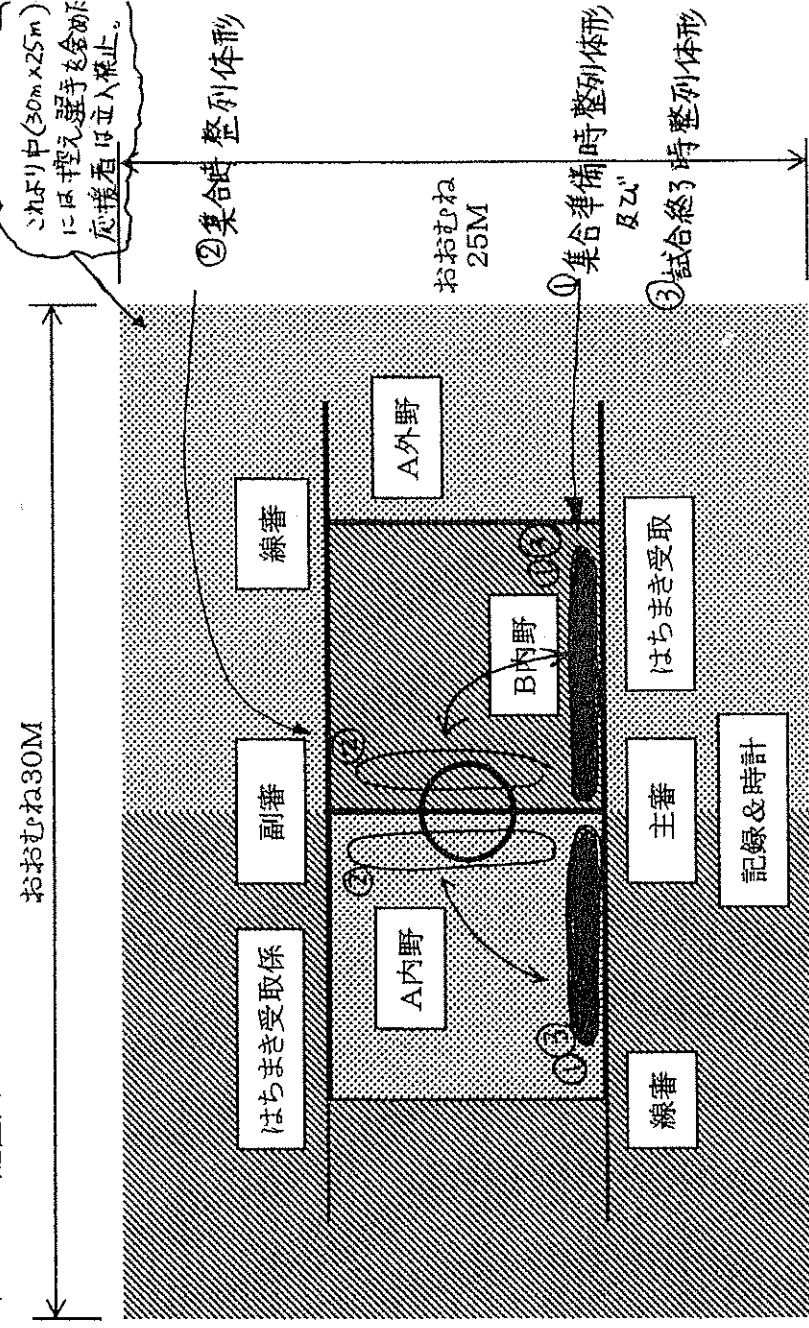
ドッジボール競技規則

ルール1. 競技場

1-1項 コート



1-2項 プレイゾーン&配置図



1-3項 競技上の条件: 室内・室外に係わらず、コートは平坦でかつ障害物のない場所で行う。

1-4項 ラインのひき方: ラインはコートの内側にひくこと

- 主審: 各チーム 大人 → ボールに注目し、当たりをキャッチ (笛は自発して下をい)
- 副審: 〃 → センターライン等のラインクロスとキャッチ (〃)
- 線審: 各チーム 児童 → 外野のラインクロスとキャッチ (〃)
- 是ちまき受取: 〃 → 当たった子のハチマキを回収

ルール2. 用具

- 2-1項 使用球: ライトドッジ2号ボール ◎ 校内予選では例年通りの教育3号ボールを使用します。
- 2-2項 服装: 小学校の体育着が望ましい。(スポンジが着けるユニフォーム・ジャージでも可。)
- 2-3項 ハチマキ: 各チームで用意してください。(対戦チームが同系色の場合は本部で対応する。)
- 2-4項 ゼッケン: 各チームで用意してください。キャプテンは1番とする。

(胸・背中に縫い付ける。安全ピンは使用しない。)(はるべくびんぎを使用して下さい。)

◎ 眼鏡はなるべく使用しないで下さい。止むなく使用する場合は、万が一の事故の可能性を本人に伝え、了解のしと行事。

ルール3. チーム編成

3-1項 チーム編成

- (1) 大会要項による有資格者で構成すること。原則として、4年生以上の男女小学生とするがチーム編成上やむを得ない場合は下級生を入れてもよい。
- (2) チームは世話人1名と選手22名以内で編成する。(登録子ども会内の児童を原則とする。)
- (3) 競技先発メンバーは11名とし、そのうち3名以上を女子とする。→ 後半も人数配分は同じ。
- (4) 登録された選手は必ず出場すること。(出場しない選手は「当日変更メンバー表」に記入しない事。)
- (5) チーム編成が出来ない単子(子ども会)は、他の単子と共同して連合チームを組んでも良いこととする。
- (6) 校区内で予選を行わない場合は、男子6名女子5名とする。

3-2項 チーム登録

- (1) 所定の期間までに「登録メンバー表」を提出すること。(単一子ども会内で大会当日に出場できる選手を登録する。内容については校区長に確認・了承を得ること。)
- (2) 大会当日に選手の変更がある場合に本部受付へ報告すること。→ ◎ 校内予選では「試合ごと、試合開始(事前)に提出した登録メンバー表に変更がある場合に限る。」20分前までに「当日変更メンバー表」を本部に提出して下さい。メンバー表は「J」で可とする。
- (3) 開会式後のメンバー変更(体調不良等)は、コートの責任者に報告しその指示に従うものとする。
- (4) 変更メンバーが居ない時は、減った人数をヒットされた人数とみなし試合を行うことができる。

→ 10名のチームでもマックス1点として、試合が本場です。

ルール4. 競技方法

4-1項 試合時間

前半 5分 [ハーフタイム 3分以内] 後半 5分

4-2項 競技準備

- (1) 競技はブロックごとのリーグ戦で行い、そのブロックの第一位のチームが決勝トーナメントに出場する。
- (2) ジャンケンで自軍のコートを決める。→ ◎ 校内予選では抽選によりコートが決まります。
- (3) ゼッケンの確認をするため試合前にサイドラインに並ぶ。(集合準備)(体調、服装チェック)
- (4) センターラインをはさんで並び、対戦相手と審判団にあいさつをする。(集合)
- (5) チームの先発メンバーの配置は内野8名・外野3名とする。選手はハチマキを巻いて出場する。(帽子などの着用は禁止する。)

4-3項 試合

(1) ジャンプボールにより試合が開始される。

ジャンプボール

- ① センターサークルで主審がトスを上げ、ホイッスルにより試合開始とする。
- ② ジャンパーは内野の選手とし、センターサークル内の相手側陣地でジャンプボールを行う。
- ③ ジャンパーへの内野からの第一投の攻撃は禁止する。
- ④ ジャンプボールが直接外野に渡った場合は、③のルールは除外される。
- ⑤ ジャンパーが空振りをして、ボールがインプレーゾーンにある限り試合は続行される。
- ⑥ 主審のトスに著しい偏りがあったと認められる場合は「やり直し」とする。